

プロポーザルの実施に係る事業者選考の情報公開基準について

1 趣旨

この基準は、海老名市（仮称）えびな健康・医療コンシェルジュセンター運営業務に係る公募型プロポーザル（以下「本件」という。）の実施に当たり、プロポーザル方式による事業者選考等情報に係る情報公開の基準として、必要な事項を定める。

この基準は、本件の提案者に対して事前に周知する。なお、応募する場合は、情報公開条例及び本基準の内容を了解の上、応募することを条件とする。

2 情報公開対象文書及び基準

○：全部公開、△：一部公開、×：非公開

情報公開対象文書（例示）		特定後	契約 締結前	契約 締結後	
提案	事業提案に関する書類	参加意向申出書	×	×	△
		企画提案書	×	×	△
		受注体制文書、見積書等	×	×	△
	法人の資格に関する書類	会社組織図、会社概要	×	×	△
		財務諸表等	×	×	△
募集	仕様書、募集要項		×	○	○
	事業者を選考するための評価項目・配点		×	○	○
選考	評価結果		P 3 参照	△	○
	選考委員会	委員名簿	○	○	○
		議事内容の記録	×	×	△

(1) 「△：一部公開」について

情報公開条例第7条各号に規定する非公開情報を除く公開をいう。なお、同条第1号及び第2号については、適用の考え方を例示する。

※前提として、行政文書は公開が原則であることに留意すること。

規定	概要	適用基準（例）
第1号	個人に関する情報であつて、氏名、生年月日その他の記述等により、特定の個人を識別することができるもの又は公にすることにより特定の個人の権利利益を害するおそれがあるもの。	原則非公開情報とする。 例：氏名、顔写真、役職等
第2号	法人その他の団体に関する情報又は事業を営む個人の当該事業に関する情報であつて、公にすることにより、当該法人等又は当該個人の権利、競争上の地位その他正当な利益を害するおそれがあるもの。	法人等の権利利益の内容、性質等に応じ、必要性を考慮して非公開情報とするかを判断する。 なお、この「おそれ」の判断に当たっては、当該法人等の意見を参考とするが、単なる確率的な可能性ではなく、法的保護に値する蓋然性が認められない場合は非公開情報とはならないので、留意すること。

<<第2号の適用に関する基準について>>

次の全てに該当する情報は、第三者意見照会の内容にかかわらず、非公開情報と取り扱う。

- ①本件の評価基準の評価項目（総論的な評価項目を除く。）に該当すること。
- ②公開請求時において、当該情報の作成者以外のものにとって既知の情報でないこと。なお、本市業務等で実施している内容については、既知の情報と取り扱うものとする。
- ③当該情報の作成者が本件以外の業務において提案可能と考えられる具体的な実施方法であること。なお、前提となる考え方、法令等解釈等については、一般事項と取り扱うものとし、原則として非公開情報に含まない。

(2) 「評価結果」について

契約締結前においては、最優秀提案を特定（以下「提案特定」という。）した後、提案特定をされたもの（以下「特定者」という。）が特定できない形で公開できるものとする。

提案者の評価結果については、自己の評価結果に限り、提案特定後に情報提供をすることができる。

(3) 「選考委員会の委員名簿」について

最優秀提案者特定後に公開できるものとする。

3 ホームページ上の公表

最優秀提案者特定後、次の事項を市ホームページに掲載し、掲載期間終了後も公開の対象とする。

①業務名

②業務概要

③提案者の名称(契約締結後においては、特定者及び特定者以外の提案者の名称)

④所管課の名称

⑤その他必要事項

4 この基準によらない場合

この基準に定めのない事項及び特別な事情によりこの基準によらない場合は、情報公開条例その他関係法令等に基づき、市が取扱いを決定する。